



関係者各位様

紙のブラインド データ シート ?

Blind Data Sheet (呼称 : 慎書)のご案内

IT化、デジタルデータ化、ペーパーレス化、個人情報保護、の全盛期に
「何で今さら紙なの！」とっていませんか？

「親書・信書」のように、大切な意志や事実の伝達には、何時の時代も紙が使用されます。
ある意味、紙こそは最良の情報媒体であり、「これに勝るものはない！」
と弊社は考えています。

また「高度情報化」故のリスクには、原始的な手法が一番効果的です。
是非、その開発コンセプトをご一読願えればと思います。
紙ベースに対する概念が変わるかも知れません。

2017年 4月 (株)バイナリー

《1. ブラインド データ シート (慎書)とは 》



その前に、紙原稿(データ)の**長所**と**短所**とは！

- 紙原稿は簡単で低コスト、しかも圧倒的に一覧性に優れている。
- 総ての年代層に馴染んだ基本媒体で、IT機器とは違い閲覧操作に専門知識などは一切不要。
- 「いざ！」と言う時に、誰にでも短期間で準備できる利便性がある。
- ただ、紙原稿は、その取込(デジタル化)に時間と手間、経費、が掛かる。
- そして一覧性が強い分、情報の保護には無防備である。(誰にでも見られる)
- 但し、データ量が多くなると、デジタルデータのように簡単にコピーはし辛い利点はある。
- また、ネットワーク上のリスクとは無縁であり、時間こそ掛かるが、通信の安全性は確保される。
- 更に、JPのレターパック等「受取人手渡し」を利用すると、情報漏えいの危険性は回避できる。
- 最後に、紙媒体故にウィルス等の感染リスクは皆無である。

偏った見方かも知れませんが、これだけでも紙原稿の優位性が見えてきませんか？
そこで弊社では上記項目の中から、紙故の最大の短所でもある、

- 取込(デジタル化入力)に、時間と手間、経費が掛かる。
- 情報の保護には無防備である。(誰にでも見られる)

の2点を払拭し、身近な設備で簡単にデジタル化はできるが、紙原稿の内容を直接見ることはできない(ブラインド化)、気配りされた独創的なデータシートを作成しました。
それがブラインド データ シート(慎書)と呼ばれるものです。(次ページにサンプル)

- 原稿を無造作に机の上に放置していても、漏えい等の心配は全くありません。
- 紙原稿に課せられた、厳しい管理保管義務、断裁・焼却、等も一切必要ありません。
- 不要になった時点で、そのまま一般の可燃ゴミとして出してください。

《2. シートサンプル》

一目瞭然、以下がそのブラインドシートのサンプルとなります。

Image0001.bmp

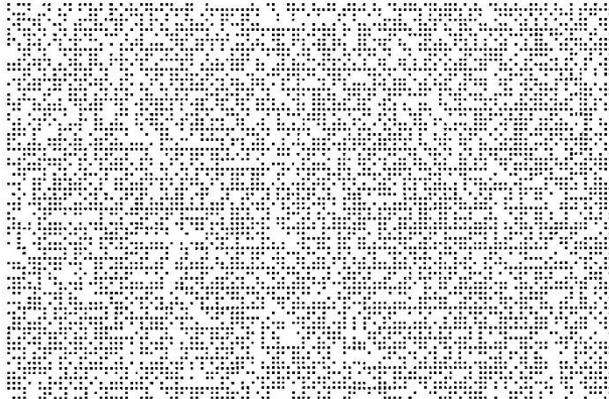


Image0002.bmp

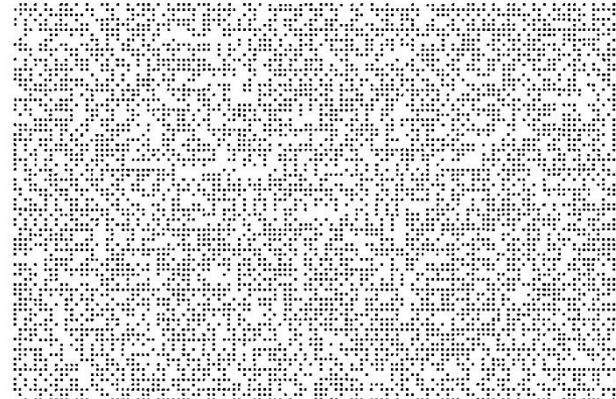
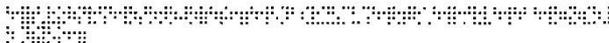


Image0003.bmp



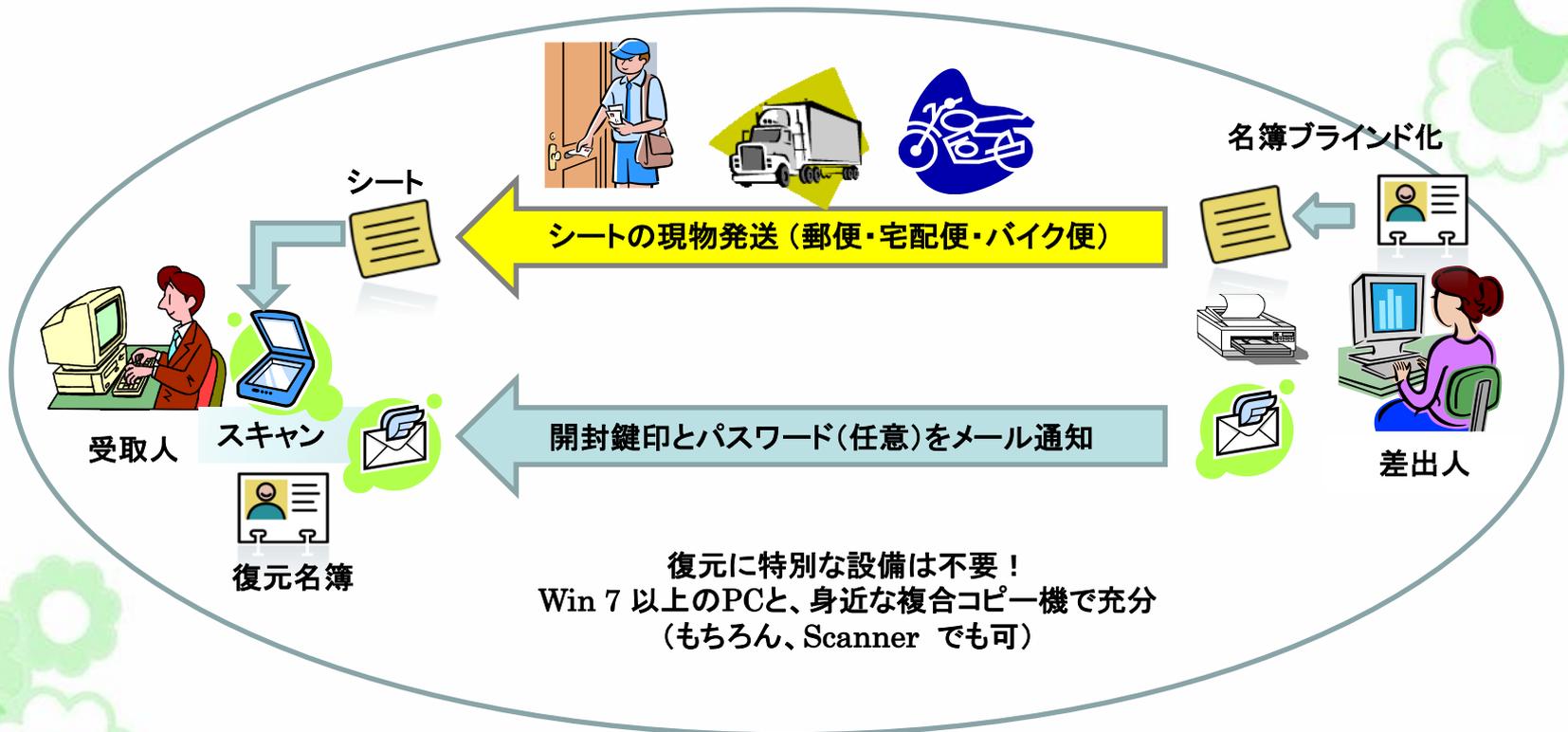
これは、あるテキスト文書をブラインド化し、A4版、3枚に印刷したシートサンプルです。（仕様は次の通り）

- ・ 用紙(シート)はA4版、横のみに限定される。
- ・ 1シートには、**1200字分(半角)**の表記が可能。
- ・ これを超えると、複数のシートに自動分割される。
- ・ 尚、特別仕様として、印刷媒体インターフェースの他に、**ファイル**インターフェースがあり、ブラインド化したイメージファイル(.bmp)をそのままメールに添付してもOK。
この場合は、1シートで**4800字分(半角)**の表記となり、受取人側でのイメージスキャン操作は、もちろん不要となる。

《3. 利用環境の概略》



- ・昨今、企業はもちろん自治体や教育機関でも、個人情報の提出や取扱にはかなり慎重です。
- ・でも、会員名簿、社員名簿、学籍名簿、受験者名簿等、一覧情報の必需性は随所にあります。
- ・こんな時、ブラインドデータシート(慎書)なら、情報漏洩の心配も無く、簡単かつ正確な取扱が可能です。
- ・高度情報化故のリスクの対応には、原始的な方法が最も効果的と言えます。
- ・JP の受取人手渡し「レターパック」等を併用すると、更に確実な情報保護に繋がります。



復元に特別な設備は不要！
Win 7 以上のPCと、身近な複合コピー機で充分
(もちろん、Scanner でも可)

《4. シート(慎書)の仕様》



■復元(受取人側)は身近な設備環境で素早く。

- ・ 用紙のサイズはA4版、書式は横のみ。
- ・ 身近な「複合コピー機」や「スキャナー」で、簡単に取込みデータを復元。
- ・ スキャン装置のメーカーは原則不問。(記録密度、ブレ、傾き、伸縮、を自動補正)
- ・ 但しスキャンのイメージに極端な歪が生ずるものは不可。
- ・ スキャンの格納形式は、TIF、JPEG、BMP、PNG、GIFなど。(TIFを推奨、PDFは対象外)
- ・ TIF形式は内部圧縮仕様でもOK。(またマルチページでもOK)
- ・ PDF形式の場合は、白黒BMPへ変換ソフト等が必要。(フリーソフト等)
- ・ DPI値は容量的な観点から、200程度を推奨。
- ・ 紙ではなく、メールの添付ファイルインフェースなら、スキャン操作は不要で直接復元できる。

■ブラインド化(差出人側)は簡単。(印刷するのみ)

- ・ ブラインド化するファイルの書式は問わないが、基本はText形式となる。
- ・ 印刷するプリンターは、縁なし印刷(マージン無し)が出来ることが条件。
- ・ 両面仕様とする場合は、透けないやや厚めのコピー用紙を使用すること。
もちろん、受取側にも両面スキャン仕様の機器が必要となる。
- ・ ファイルインターフェースなら、ブラインド化したイメージファイルをそのままメール添付。

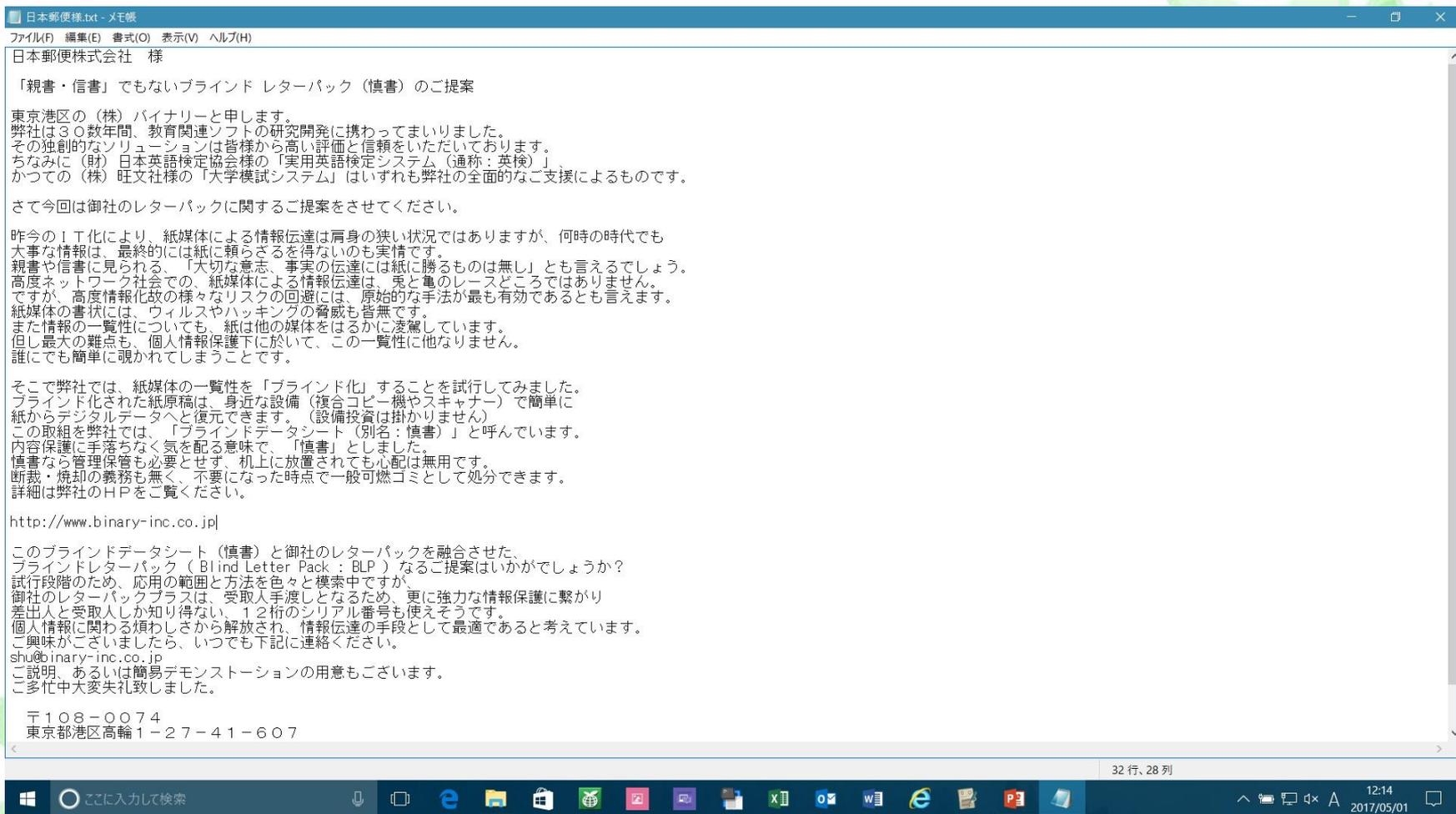
■ブラインド(Encoder)、復元(Decoder)の動作環境

- ・ 対応OSは、Windows 7, 8, 10 のいずれか。
- ・ .NET Framework 4.6 が必要。
- ・ CPUは32 bit, 64 bit 問わず、但し、IA-64系のCPUは除外。
- ・ Memoryは1GB以上を推奨。

《5. 復元したシート(慎書)の内容》



前のサンプルシートの3枚を復元すると、簡単に以下のテキストデータを得ることができます。



《6. 慎書の応用例》



例えば、個人情報等の扱いに厳しい教育機関(学校)に於ける、学生名簿、成績証明、各種検定の申込書(志願票)、などのやり取りに利用できます。

- 学校では個人情報保護の観点から、受験者名簿(デジタルデータ)等の送受には非協力的である。
 - ・ 英検などでは、解答用紙の表紙は個人情報の手書欄、裏を解答用マークシートとして使用。
 - ・ 検定事務局では、その個人情報欄の手入力を外部業者に委託して志願票を完成させている。
 - ・ 学校で所有する名簿は使わず、受験生の手書情報を、再度手入力する二度手間を踏んでいる。
 - ・ その結果、姓名の表記や当て字、入力ミスの問題などで、時間と経費が掛かることになる。
 - ・ そこで、学校所有の名簿を紙媒体にブラインド化して、答案と一緒に検定事務局に送付することで、個人情報流出のリスクも無く、確実にスムーズな申込が可能となる。
 - ・ ブラインド化された名簿は、身近な設備を利用して簡単に復元でき、しかも信頼性は外部の入力業者よりもはるかに高い。

この「慎書」が役立つ応用事例を広く募集しています。
ご連絡いただければ、必ずお役に立てると考えています。
詳細は弊社WEBサイトをご覧ください。

<http://www.binary-inc.co.jp>

《7. ご提供方法》



- ブラインド化 (**Encode**)と復元 (**Decode**)のツールについて。
 - ・ これらのツールのみを単体で販売することはありません。
 - ・ 情報受渡しの主体となるシステム開発経費の一環としてのお見積りが前提です。
 - ・ もちろんサービスを受ける顧客様側へのツール提供は無償となります。
- ブラインドデータシートの様々な活用例やご意見をお待ちしています。
 - ・ 名簿頼の受渡しの他に、ブラインド化に最適な活用事例をお聞かせください。
 - ・ 規模を問わず、どのような業種でもかまいません。
 - ・ 下記メール宛てにいつでもお気軽に連絡ください。

support@binary-inc.co.jp

- 詳細は弊社WEBサイトで。

<http://www.binary-inc.co.jp>